

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	佐世保市 離島地域移住促進事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	佐世保市	企画部・地域政策課 させぼ移住サポートセンター	藤川正樹	0956-25-9251
事業期間	開始年	平成24年10月 日 (4年目) (移住相談会参加開始年)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 28年8月2日 (完了日) 29年 3月31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市から佐世保市へのUIターン希望者 ・離島住民 		UIターン希望者への相談対応と、受入側としての地元の地域活性化を支援することにより、移住を促進する。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	平成28年11月26日(土)～27日(日)に東京で開催された「全国の島々が集まる祭典～アイランダー2016」に佐世保市離島として参加し特産品販売等、地域のPRを行うとともに、離島への移住希望者に対して住宅や仕事情報の提供・相談を実施した。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	佐世保市の中でも、特に離島地域や半島地域は人口の減少が著しく、定住人口を維持するため、UIターン者を地域に受け入れる体制づくりが必要であるため。			
(経緯・現状)				
UIターン促進については、全国的な取組みも活発化している中で、本市においても移住者受入による地域活性化のため、今後さらに事業を展開していく必要がある。				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		623,486	401,488	208,680				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業補助金	382,946	267,658	139,120				
	一般財源	191,482	133,830	69,560				
成果（活動）指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	移住相談者数	佐世保市への移住希望者の相談対応を活動指標とした	人	目標	25	40	100
					実績	36	66	182
					目標達成率（％）	144	150	182
	②				目標			
					実績			
					目標達成率（％）			

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		必需（+） 私益（-） 公益（+） 選択（-）
	（公益性） <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	（必需性） <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い （-） 0 （+） 	（影響内容、程度等） 移住希望者に対する初めの相談窓口として対応するところが無くなり、行政サービスの低下につながる。特にIターン者や、離島地域への希望者は行政が対応する必要性が高い。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		移住相談会への参加回数増のため。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)
	実施予定 期 日	29年 4月～	平成28年度からの新たな取組みとして、「させぼ移住サポートデスク」を設置され、また平成29年度からはさらに相談体制を充実させることから、窓口を通じての移住者増を図る。
有効性の点検	(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 平成28年度からの新たな取組みとして、「させぼ移住サポートデスク」を設置して事業推進をすすめてきたが、さらなる相談体制の充実のため、平成29年度より、さらなる佐世保市への移住促進を図るため、移住相談者が“させぼらしさ”や生活環境を体感できる拠点(ワンストップ相談窓口)を整備します。 整備エリアは、港とともに発展してきた特色を持つさせぼらしさをイメージさせる港やまちなかに隣接するエリアとし、拠点の一部の会議スペースや交流スペースの提供により、移住者(子育て世代の母親、起業家)と定住者の仕事や情報交換の場として、また、地域活性化のための地域おこし協力隊との交流の場を創出することとしています。加えて、移住者目線に立った支援策の拡充を行います。
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		
効率性の点検	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		移住希望者に対する相談業務は、行政サービスの一環であるため受益者負担は困難である。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下		<input checked="" type="checkbox"/> サービス水準向上		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合
実施予定時期			28年4月～		<input type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	本事業は今後ますます重要性を増してくるため、平成28年度からの新たな事業を展開することで移住者増を図る。				

事業実績シート